

実習内容  
ならびに  
スケジュール

## 歯科口腔外科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション・口腔外科症例検討	野口	9:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	病棟処置見学	吉川	10:30	1号館9階東病棟 処置室
	昼食			
	症例検討（インプラント、骨移植）	上田	13:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	相互実習（印象採得・パノラマ撮影）	畑中	14:15	2号館3階口腔外科外来
	教授回診見学	岸本	15:30	1号館9階東病棟 処置室
火	手術見学	吉川	9:00	急性医療総合センター手術室
	昼食			
	相互実習（オーラルフレイル）	徳本	13:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	相互実習（口腔内細菌感染）	柿本	14:15	2号館5階口腔外科セミナー室
	症例検討（良性腫瘍、悪性腫瘍）	大前	15:30	2号館5階口腔外科セミナー室
水	症例検討（歯科と関連のある全身疾患）	畑中	9:00	2号館5階口腔外科セミナー室
	症例検討（一般歯科治療について）	富本	10:10	2号館5階口腔外科セミナー室
	歯科技工見学・体験	歯科技工士	11:10	2号館3階口腔外科外来
	昼食			
	外来診療見学・体験	大前・森寺	13:00	2号館3階口腔外科外来
	口腔衛生指導実習	歯科衛生士	14:30	2号館3階口腔外科外来
	臨床講義・総括	岸本	15:35	2号館5階口腔外科セミナー室
木				
金				

◎ 診療科名： 歯科口腔外科

◎ 責任者氏名： 岸本 裕充 主任教授

◎ 指導教員氏名： 富本 康平 助教

### ◎ 実習概要

1.症例検討、2.教授回診、3.病棟・外来実習、4.模擬実習（口腔内相互実習・口腔内細菌観察）、5.模擬実習（口腔衛生指導実習）、6.模擬実習（歯科技工実習）、7.模擬実習（オーラルフレイル検査）、8.手術見学、9.その他各種検査・処置・治療の見学などを行い、歯科・口腔外科領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

### ◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・ 歯科・口腔外科領域における主要疾患についてアセスメントができる。
- ・ 歯科・口腔外科領域の患者の基本的診察法をしている。
- ・ 基本的な検査ができる。
- ・ 治療計画を立てることができる。
- ・ 患者の立場に立った対応ができる。

### ◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- ・ 教科書歯科・口腔外科領域の総論を読んでくること（2時間程度）
- ・ 3年次の講義資料をよく復習すること（2日）
- ・ 歯科・口腔外科領域の国家試験過去問を解いておくこと（3時間）

## ◎ 評価方法

(知識、技術、態度についてS、A、B、Cで評価。評価基準をルーブリックで明示)。

	S	A	B	C
知識	代表的な疾患について治療計画を説明できる。	代表的な疾患についてアセスメントができる。	代表的な疾患の概略を説明できる。	一部の疾患について理解している。
	国家試験レベルの内容を他生徒に指導できる。	国家試験レベルの内容は十分理解している。	国家試験レベルの内容を大部分理解している。	国家試験レベルの内容を一部分理解している。
技術	口腔衛生指導方法を他生徒に指導できる。	適切に口腔衛生指導ができる。	患者さんの口腔衛生指導で、不十分な点に気付くことができる。	自分自身に対し、口腔衛生が適切にできているか否か評価できる。
	他生徒に診察法や検査を指導できる。	必要な検査を実施し、結果を説明できる。	検査の必要性について説明できる。	必要な検査を列挙できる。
態度	積極的で、他生徒とカンファレンスができる。	積極的で質問もよくする。	ノルマはこなしているが、やや消極的である。	消極的で質問がない。
	患者さんから信頼されるような態度をとれる。	友好的な態度で患者さんに接することができる。	患者さんに嫌悪感を抱かれずに診察できる。	患者さんとコミュニケーションを取ることができる。

## ◎ パフォーマンス評価

臨床実習最後の水曜日の講義にて自己評価を行う。

◎ 中間評価とフィードバック

実施しない。

◎ 注意事項

- ・初日は9時00分に2号館5階歯科口腔外科セミナー室に集合すること。